

## 畑作・肉牛・酪農部門が連携、資源循環するギガ農場 ～（有）西上加納農場～

### 経営体の概要

事業実施前：平成18年

基幹作物：畑作物、牧草、肉牛、乳牛

経営面積：231ha

飼養頭数：肉牛6,500頭、乳牛520頭

事業実施後：平成30年

基幹作物：畑作物、牧草、肉牛、乳牛

経営面積：350ha

飼養頭数：肉牛7,400頭、乳牛1,200頭



### 取組の経緯と経営転換のポイント等

事業実施前から大規模畑作・肉牛・酪農経営として営農してきたが、国営事業により洪水被害の解消、排水改良が図られたことで、平成25年頃から牧草だけでなくばれいしょなどの一般畑作物も作れる程生産性が向上し、社内でも畑作、肉牛、乳牛部門が連携・循環する地域内最大の経営体として確立している。

### 営農改善のポイント

#### ①規模拡大・土地利用調整

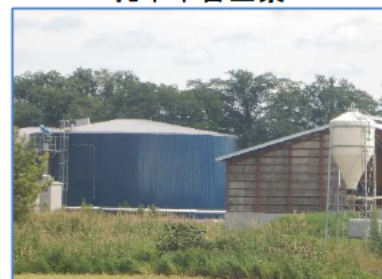
畑作、肉牛の2部門に酪農部門を加えて経営の安定化を図っており、乳牛は1,200頭と事業実施前の2.3倍、肉牛は7,400頭と事業実施前の1.14倍に増加するなど、構成員7人、従業員35人からなるギガ農場として確立している。また、畑作農家にデントコーンの作付委託を行っているが、畑作農家では輪作体系が確立され、当社からは堆肥を提供する耕蓄連携を進めることにより粗飼料を確保している。



乳牛牛舎全景

#### ②省力化の取り組み

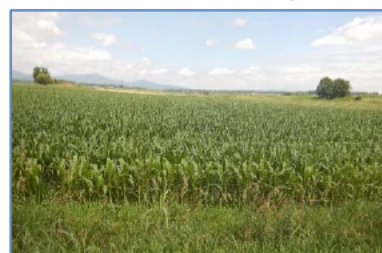
事業実施前から飼養頭数は1.2倍に増加し、それに伴ってふん尿処理量も増加しているため、使用済敷料を発酵乾燥してから戻し堆肥として繰り返し利用することで敷料の使用料を削減している。また、バイオガスシステムをいち早く導入し堆肥処理の高度化、省力化するとともに、堆肥をペレット化し燃料利用する検討も行っている。



バイオガスシステム全景

#### ③単収・品質の向上

排水路の整備によるほ場条件の改善によって、牧草専用のほ場が畑作物やデントコーンが作付できるほ場に生まれ変わっている。また、デントコーンを組み合わせた輪作体系の確立によって、種子用ばれいしょの品質が向上している。



デントコーンの作付状況

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：北海道河東郡士幌町及び上士幌町

受益面積：1,761ha

事業期間：平成19年度～平成24年度

事業目的：排水改良

主要工事：排水路1条6.5km

### 位置図（北海道）



上音更地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業振興課 調整係

電話：011-709-2311

(内線5684)

(平成30年度調査時点)